

## 農林水産省における地球温暖化対策

### 対策のポイント

地球温暖化対策の推進のため、農林水産業・食品産業における温室効果ガス排出削減対策や森林等吸収源対策の着実な推進に加え、農山漁村における再生可能エネルギーの導入等を促進します。

### <背景/課題>

- ・温室効果ガスの大気中濃度を自然の生態系や人類に悪影響を及ぼさない水準で安定化させるという気候変動枠組条約の目標を踏まえ、農林水産分野においても地球温暖化対策を推進する必要。

### 政策目標

農林水産業・食品産業における地球温暖化対策のさらなる推進

### <主な内容>

#### I. 地球温暖化防止策

##### 1. 農林水産業・食品産業における排出削減対策

###### (1) 農業分野における温室効果ガス排出削減対策

他分野で製品化・実用化されている省エネ・省資源技術の農業転用について、公的農業研究機関と民間企業等との共同検証を支援します。

【生産環境総合対策事業のうち温暖化対策貢献技術支援事業 75(88)百万円の内数】

###### (2) 水産分野における温室効果ガス排出削減対策

漁船漁業や養殖漁業等の省エネルギー・省コスト化に資する革新的な技術について、漁業者等が行う実証試験を支援します。

【水産業の省エネ・省コスト新技術実証事業 29(31)百万円の内数】

###### (3) 食品産業における温室効果ガス排出削減対策

食品産業の体質強化と地域活性化に向けて、商慣習の見直し等の食品ロス削減国民運動を展開するとともに、「もったいない」意識をフードチェーンの改善につなげ、食品関連事業者による地球温暖化・省エネルギー対策を普及促進する取組を支援します。

【食品ロス削減等総合対策事業 105(-)百万円の内数】

##### 2. 森林等吸収源対策

###### (1) 森林吸収源対策の着実な推進

集約化を進め、間伐やこれと一体となった路網の整備、主伐後の再造林等を推進します。また、荒廃山地の復旧整備や水土保持機能が低下した森林の整備を一体的に実施するなど、山地防災力の強化に向けた取組を推進します。

【森林整備事業・治山事業(公共) 181,293(179,642)百万円】

###### (2) 土壌が有する地球温暖化防止機能の活用

###### ① 農地土壌における炭素貯留量等を算定するための基礎調査の実施

農地からの温室効果ガスの排出・吸収量の国連への報告に必要な農地土壌中の炭素貯留量等のデータを収集する農地管理実態調査及び排出削減のための農地管理技術の検証を実施します。

【農地土壌温室効果ガス排出量算定基礎調査事業 111(124)百万円】

###### ② 環境保全型農業直接支援対策

農業者等が実施する、化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と

## [平成26年度予算の概要]

セットで、地球温暖化防止等に効果の高い営農活動に取り組む場合に支援を実施します。

【環境保全型農業直接支援対策 2, 646 (2, 644) 百万円】

### 3. 再生可能エネルギー対策

#### (1) 農山漁村再生可能エネルギー導入等促進対策

農林漁業者やその組織する団体（農業協同組合、森林組合、漁業協同組合、土地改良区等）が主導して行う農山漁村の資源を活用した再生可能エネルギー発電事業の取組について、事業構想から運転開始に至るまでに必要となる様々な手続や取組を総合的に支援するとともに、小水力等発電施設の整備に係る概略設計、各種法令に基づく協議等の取組等を支援します。

【農山漁村再生可能エネルギー導入等促進対策 1, 138 (1, 175) 百万円】

#### (2) バイオマス産業を軸としたまちづくり・むらづくりへの支援

バイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまちづくり・むらづくりを目指すバイオマス産業都市の構築を支援します。

【地域バイオマス産業化推進事業 1, 005 (1, 280) 百万円】

## II. 地球温暖化適応策

### 1. 農林水産分野における温暖化適応技術の開発

地球温暖化等生産環境の変化が我が国の農林水産分野に与える影響を高精度に評価するとともに、影響評価に基づき、温暖化等に対応するための技術を開発します。

【生産現場強化のための研究開発 1, 877 (2, 002) 百万円の内数】

### 2. 温暖化適応技術の導入・普及の推進

地球温暖化による農作物の高温障害等について、地域で特に問題になっている課題を解決するため、都道府県等が連携した適応技術の共同検証を支援します。

【生産環境総合対策事業のうち温暖化対策貢献技術支援事業 75 (88) 百万円の内数】

### 3. 農林水産分野に及ぼす地球温暖化の影響評価

海外の地球温暖化の適応計画における経済的影響評価とその活用状況を調査・分析し、その結果を参考として、今後の地域温暖化が我が国の農林水産分野に及ぼす経済的影響評価を実施します。

【農林水産分野における地球温暖化経済影響調査事業 10 (0) 百万円】

## III. 地球温暖化対策に関する国際協力

途上国の森林減少・劣化に由来する二酸化炭素の排出の削減に向け、森林技術の研究・普及を実施するなど国際的な森林減少対策に対応した体制整備の推進等を実施します。

【REDD推進体制緊急整備事業 131 (154) 百万円】

(連絡先：大臣官房環境政策課地球環境対策室 03-6744-2016)

# 農林水産省における地球温暖化対策

地球温暖化対策の推進のため、農林水産業・食品産業における温室効果ガス排出削減対策や森林等吸収源対策の着実な推進に加え、農山漁村における再生可能エネルギーの導入等を促進します。

## I 地球温暖化防止策

### 1. 農林水産業・食品産業における排出削減対策

#### (1) 農業分野における温室効果ガス排出削減対策

他分野で製品化・実用化されている省エネ・省資源技術の農業転用について、公的農業研究機関と民間企業等との共同検証を支援します。

生産環境総合対策事業のうち温暖化対策貢献技術支援事業 75(88)百万円の内数



省エネ・省資源技術の農業転用を検証

#### (2) 水産分野における温室効果ガス排出削減対策

漁船漁業や養殖漁業等の省エネルギー・省コスト化に資する革新的な技術について、漁業者等が行う実証試験を支援します。

水産省の省エネ・省コスト新技術実証事業 29(31)百万円の内数



過発生抑制プロペラの検証  
(5%省エネ省コスト)

#### (3) 食品産業における温室効果ガス排出削減対策

商慣習の見直し等の食品ロス削減国民運動を展開するとともに、「もったいない」意識をフードチェーンの改善につなげ、食品関連事業者による地球温暖化・省エネルギー対策を普及促進する取組を支援します。

食品ロス削減等総合対策事業 105(-)百万円の内数



食品ロス削減国民運動を展開

### 2. 森林等吸収源対策

#### (1) 森林吸収源対策の着実な推進

集約化を進め、間伐やこれと一体となった路網の整備、主伐後の再造林等を推進します。また、荒廃山地の復旧整備や水土保持機能が低下した森林の整備を一体的に実施するなど、山地防災力の強化に向けた取組を推進します。

森林整備事業・治山事業(公共)181,293(179,642)百万円



間伐などの森林整備の推進

#### (2) 土壌が有する地球温暖化防止機能の活用

農地土壌中の炭素貯留量等のデータを収集する農地管理実態調査等を実施するとともに、化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組とセットで、地球温暖化防止等に効果の高い営農活動に取り組む場合に支援を実施します。

農地土壌温室効果ガス排出量算定基礎調査事業 111(124)百万円

環境保全型農業直接支援対策 2,646(2,644)百万円



農地土壌炭素貯留調査

### 3. 再生可能エネルギー対策

#### (1) 農山漁村再生可能エネルギー導入等促進対策

農林漁業者やその組織する団体（農業協同組合、森林組合、漁業協同組合、土地改良区等）が主導して行う農山漁村の資源を活用した再生可能エネルギー発電事業の取組について、事業構想から運転開始に至るまでに必要となる様々な手続や取組を総合的に支援するとともに、小水力等発電施設の整備に係る概略設計、各種法令に基づく協議等の取組等を支援します。

農山漁村再生可能エネルギー導入等促進対策 1,138(1,175)百万円

#### (2) バイオマス産業を軸としたまちづくり・むらづくりへの支援

バイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまちづくり・むらづくりを目指すバイオマス産業都市の構築を支援します。

地域バイオマス産業推進事業 1,005(1,280)百万円

## II 地球温暖化適応策

温暖化の進行に適応した生産安定技術の開発や導入・普及の推進等を実施します。

## III 地球温暖化対策に関する国際協力

途上国の森林減少・劣化に由来する二酸化炭素の排出の削減に向け、森林技術の研修・普及を実施するなど国際的な森林減少対策に対応した体制整備の推進等を実施します。



焼畑等による森林荒廃(ラオス)